

国際空港で考える環境

The environment, thinking at an international airport.

岡本明子

環境カウンセラーESD学会

概要:事例紹介：国際空港で考える環境、水際対策、安全など

いつでも、どこでも、環境を考えることはできる。今、世界的にコロナの蔓延が治まらず、検疫所や水際対策への関心が高まっている。私は、10年以上前からこの問題に注目し、環境講座を開講するなど、関心を深めるとともに、広く広報に努めてきた。水際対策関連施設の意義を再考、持続可能な社会を考える機会とするためだ。

この項では、2008年から中部国際空港（セントレア）でほぼ毎年開講してきた見学型環境講座、環境カウンセラーと行く『セントレアまるごとウォッチング』を例に、開講の意図、開講の意義、参加者の反応などを報告する。

キーワード:空港、水際対策、環境教育、CIQ、検疫

1. はじめに

自然豊かな環境で育ったため、環境の変化には敏感だった。見慣れない生物の侵入に驚き、違和感を持つことも多かった子供だった。のちに、それが、外来生物と呼ばれ、人間が意図的、非意図的に持ち込んだものの結果だと知ようになった。生態系に及ぼす影響が大ききことも知った。

日本は、周囲を海に囲まれているため、陸続きの国々に比べて、自国の環境・生態系を守りやすい。しかし、鳥類のように、自分の力で海を越えてくる生物もある。食料をはじめ、大量の物品を輸入している。グローバル化が進み、人も、モノも、世界中を駆け巡っている。

こんな時代だからこそ重要性を増す水際対策について知り、その意義を広める必要を感じた。

2. 中部国際空港での開催に至るまで

検疫系に興味はあっても、CIQ(税関 Customs、出入国管理 Immigration、検疫所 Quarantine)という言葉さえ知らなかった。でも生き物好きが高じてたどり着いたのは動物検疫所だった。

2006年に動物検疫所の見学を依頼、2007年に

は、名古屋港周辺の税関・検疫系施設の見学型講座へと広げていった。

3. 中部国際空港での開催

2008年より『セントレアまるごとウォッチング』と称して、セントレア島内で開催している。途中、出入国管理庁も加わり CIQ すべての見学が可能となった。水際対策のもう一方の要である国際郵便局も加わった。

空港島全体を俯瞰、安全、環境、水際対策をテーマに、中部国際空港株式会社やその関連会社も巻き込んだ。飛行機の安全航行を護る航空気象台なども加え、省庁だけでなく、官民をもまたいだ講座となっている。(図1参考：2019年の事例)

平日昼間、5日ほどの連続講座にもかかわらず、参加者が集まる。仕事のやりくりが大変と言いつつ熱心な人が多い。10年以上開催し続けていると、どう変わっているか・変わっていないのかを知りたいといったリピーターも参加することもある。

見学先には、ご迷惑をおかけしているが、広報にもなっているようで、毎年開催が続いている。

図 1: 2019 年度の講座(5 回目はコロナで内容変更)

B-50
全回受講

『セントレアまるごとウォッチング 2019』環境配慮と水際対策を学ぶ

対象：大学生、一般

大人の社会見学型環境講座、環境カウンセラーと行くシリーズ、今回もセントレアです。国際空港セントレアには、検疫など日本を護る施設がたくさんあります。また、島という性質上、特徴的な環境配慮の仕組みや、先進的な環境配慮をしている空港会社の姿勢を知ることでもできます。いつもはあまり意識してこなかったこと、普通では見ること・入ることのできない機会がたくさんあります。ぜひ。

参加・申込方法

参加者の住所・氏名・年齢・電話番号、FAX 番号またはメールアドレスを記入のうえ、FAX またはメールでお申し込みください。1 週間以内に確認の連絡がない場合、再度ご連絡ください

✉ seirea@seirea-airport.co.jp

純粋な国関係機関の見学料は無料。制限区域での見学申請などのため、生年月日などの個人情報をお聞きます。気象条件、緊急事態の発生などにより、一部開催できないことがあります。

【その他案内事項】
一部開講できない場合も参加費をお返しできません。セントレア島内移動にバス代 170 円×4 必要です。

定員/20名
(5 回分)
3000 円

セントレア まるごとウォッチング

1	10/30(水) 10:00~16:00頃 座学 屋内	オリエンテーション/税関の役割/出入国在留管理庁の役割 <オリエンテーション><税関(財務省)><世界各国との貿易に関する税金の仕事と関所の仕事<出入国在留管理庁(法務省)>>円滑かつ厳格な出入国審査 会場/セントレア島(常滑市) 講師/税関職員/出入国在留管理庁職員/岡本明子	
2	11/20(水) 10:00~16:00頃 座学 屋内	動物検疫所の役割/国際郵便局の役割 <動物検疫所(農林水産省)>>犬猫、畜産物の輸出入検査。鳥インフルエンザの検査・診断施設の見学<国際郵便局>>国際郵便物の空港受渡業務 会場/セントレア島(常滑市) 講師/動物検疫所職員/中部国際郵便局社員	
3	12/11(水) 10:00~16:00頃 座学 屋内 屋外	植物防疫所の役割/空港島の環境配慮 <植物防疫所(農林水産省)>>海外からの病害虫の侵入を未然に防ぐ<中部国際空港株式会社>>セントレアの環境配慮、貨物エリア水素ステーション等施設見学 会場/セントレア島(常滑市) 講師/植物防疫所職員/中部国際空港(株)社員	
4	2020年 1/22(水) 10:00~16:00頃 座学 屋内	環境省の役割/セントレア島の廃棄物処理 <中部地方環境事務所(環境省)>>外来生物の侵入を防ぐ・国境をまたぐ廃棄物の移動<サンエイ(株)>>空港島内・航空機内のゴミのリサイクル 会場/セントレア島(常滑市) 講師/環境省職員/サンエイ(株)社員	
5	2/19(水) 10:00~16:00頃 座学 屋内 討論・WS	セントレア島のエネルギー供給/検疫所の役割/まとめ <エネルギー供給(株)>>空港島全体のエネルギーを見渡す<検疫所(厚生労働省)>>人に対する検疫及び輸入食品の監視を行う まとめ 会場/セントレア島(常滑市) 講師/検疫所職員/エネルギー供給(株)社員/岡本明子	

企画運営

団体名 環境カウンセラー 岡本明子
 担当者 岡本明子
 ✉ seirea@seirea-airport.co.jp

4. 配慮していること

CIQ の見学は、当然ながらセキュリティが厳しい。見学先によって異なるが、公的機関発行の依頼書が必要となる。また、参加者の生年月日など個人情報を添えた申請も必要だ。個人情報の扱いには慎重を期した。

また、主催者として、怪しげな参加者を受け入れてしまい、見学先に迷惑をかけるわけにはいかない。一般公募ではあるが、参加者の受け入れには神経を使った。

見学先は、緊急時には即対応が必要になる機関ばかりだ。参加者には、緊急時には講座がキャンセルになる可能性を理解した上で参加してもらっている。

出典: なごや環境大学ガイドブック 2019 年後期

5. 活動の広がり

環境省中部地方事務所主催の生物多様性の日、NHK名古屋放送局などでブースを出展した。その模様を、NHK 教育テレビ『ど〜する地球のあした』で環境カウンセラーの活動として放映された。

また、また、名古屋市教育委員会主催の『環境未来探検隊』指導員として紹介引率した。所属する『日本科学技術ジャーナリスト会議』の会報で報告するなど広報に努めている。

【参考文献など】

なごや環境大学事務局『なごや環境大学ガイドブック』2006 年~2020 年

日本科学技術ジャーナリスト会議『会報 70 号』